

# 「息子とたすきを」 14年越しの夢叶う

福屋 博樹さん(42=瀬戸口)  
渉さん(湯前中3年)

「練習はしっかりできていたが、寒さもあり、最初の1キから体が動かなかった。20分切りを目指していたが、40秒ほど届かず悔しいレースとなった」と福屋博樹さん。しかし、昨年よりタイムを縮め、チーム最高となる区間4位の走りでけん引。29回目の出場にして進化する父親には、輝き続ける理由があった。

「親子でたすきをつなぎたい」。そう思ったのは14年前の同大会。椎葉義男さん(60=中猪)、和也さん(36)の親子リレーを見て、当時1歳の息子、渉さんとたすきをつなぐまで現役であることを一つの目標にした。昨年Cで出場した渉さんはことし、Aにのぼりつめた。「大きな大会で、しかもAチームでつなげてうれしかった」と長年の夢が叶った瞬間を博樹さんは喜んだ。

「次は息子が高校生になり、どの区間でも走れるようになる。私がAチームに残れるように頑張り、またたすきをつなぎたい」と博樹さん。渉さんは「区間上位を狙って走ったが、あまり良い走りができなかった。来年はタイムを上げて区間賞を取れるように頑張りたい」と意気込む。二人は家族であり、ライバル。次の目標に向かって走り続ける。



長年の夢を叶えた博樹さん。息子から託されたたすきを力に、順位を上げた



第66回球磨一周駅伝大会

# 尻上がり、湯前A 6位死守

1選手丸。心はひとつ2なんとか食いつこうと懸命に走る福屋渉選手3最後まで後続を振り切って6位を死守した湯前A(田代選手)41区椎葉選手からたすきを受けて前を追う、2区浜崎選手5区間4位の走りチームを引っ張った福屋博樹選手64区山崎選手から5区森川選手へ。2年連続の高校生リレー7雨と寒さに負けず、リズムよく足を進める3区多田選手

第66回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会は12月16日に水上村岩野小学校前分岐点をスタート、同小学校前をゴールとする8区間、52.82キのコースで開かれ、人吉球磨10市町村から22チームが出場。湯前Aは昨年より順位を3つ上げ、6位でゴールしました。

本町はことしもA・Cの3チームで出場。8位でたすきを受けた4区(9・1キ)山崎隼汰選手(球磨工業高3年)上村)が区間6位の走りです。順位を上げると、6区(4・35キ中学生)と7区(5・88キ)では、福屋渉選手(湯前中3年)瀬戸口)と福屋博樹選手(42)が親子リレー。息子がらたすきを受け取ったAチーム最年長のベテランが一人を抜き、6位に浮上。最終区の田代翔也選手(29)田上)が後続を振り切り、そのまま6位でゴールしました。

当日は雨と寒さが重なり、悪条件でのレースでしたが、全員が最後まであきらめない走りをみせました。

- 〈総合成績〉
- ① 錦町A 2時間56分36秒
  - ② 人吉A 2時間57分56秒
  - ③ 相良A 2時間59分59秒
  - ⑥ 湯前A 3時間05分30秒
  - ⑧ 湯前B 3時間27分08秒
  - (中田翔、永瀨香琳、工藤孝明、大平修市、大山亮仁、落合諒、大林達明、北崎順也)
  - ⑩ 湯前C 3時間30分44秒
  - (椎葉太、椎葉愛華、工藤祐二、稲葉翔太、大野慎也、篠宮光陽、永田幸太郎、橋本康平)
- 〈個人成績〉※Aチーム
- ※(通過順位)(区間順位)
- ▽1区(6.97キ) 椎葉亮太 23分51秒 (9)(9)
  - ▽2区(2.3キ女子) 浜崎郁乃 8分37秒 (8)(12)
  - ▽3区(7.57キ) 多田恵太 26分09秒 (8)(7)
  - ▽4区(9.1キ) 山崎隼汰 30分46秒 (7)(6)
  - ▽5区(8.75キ) 森川勝己 32分27秒 (7)(6)
  - ▽6区(4.35キ中学生) 福屋渉 14分54秒 (7)(6)
  - ▽7区(5.88キ) 福屋博樹 20分41秒 (6)(4)
  - ▽8区(7.9キ) 田代翔也 28分05秒 (6)(6)